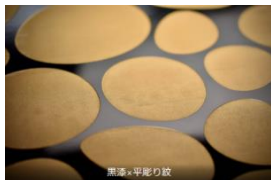
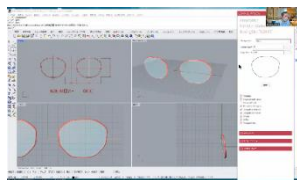
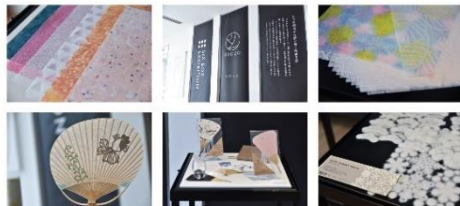


福井県	機関名	公益財団法人ふくい産業支援センター	
	部署名	デザイン振興部	
	電話連絡先	0778-21-3154	
事業名	福井デザインアカデミー開催事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
【 目的 】			
消費者ニーズの多様化の中で、ブランディングは当該商品を差別化し商品力をアップする手法として重要度が増しており、一連の活動をマネジメントできる人材を養成するとともに、そのような人材が活躍できる企業風土作りに向け、企業経営者層の理解の促進を図る。			
【 事業内容 】			
(1)「ブランディング & 商品開発講座」の開催			
内容	:現状分析・商品設計・視覚伝達の3部構成で、それぞれの専門家による講義(ワークショップを含む)を開催した。		
講師	:鷹屋 信隆 氏(株式会社デザインアシスト)		
	平田 喜大 氏(エルゴデザインスタジオ/代表)		
	左合 ひとみ 氏(株式会社左合ひとみデザイン室/代表)		
	水野 美紀 氏(グラフィックデザイン晴れのひ。/代表)		
	高山 友樹 氏(he/rbest/代表)		
開催時期:	令和 5 年 7 月 7 日～令和 5 年 12 月 15 日(全 12 回)		
開催場所:	サンルーム福井ものづくりキャンパスワークルーム		
	福井県中小企業産業大学校		
受講者	:22 名(製造業・サービス業・飲食業 等)		
受講料	:50,930 円(税込)		
			
(2)「デザインレクチャー」の開催			
内容	:デザインの活用によって成長が期待される幅広い業界に対して各ニーズに応じたレクチャーを開催した。		
講師	:鷹屋 信隆 氏(株式会社デザインアシスト)		
	平田 喜大 氏(エルゴデザインスタジオ/代表)		
開催時期:	令和 5 年 6 月 2 日～令和 5 年 12 月 20 日(全 16 回)		
開催場所:	サンルーム福井ものづくりキャンパス		
受講者	:46 名(製造業・サービス業・飲食業 等)		
受講料	:無料		
<参考 URL > http://www.sankan.jp/fmc/			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		平成11年度	1,683 千円

福井県	機関名	公益財団法人ふくい産業支援センター	
	部署名	デザイン振興部	
	電話連絡先	0778-21-3154	
事業名	産業デザインプロデュース事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
【 目的 】 消費者ニーズの多様化の中で、商品や販促ツール等へのデザイン活用はもとより、市場ニーズの把握から商品企画、販売までのブランディングなど一連のマーケティング活動による商品の差別化、商品力のアップが重要である。そこで、一連の活動をマネジメントできる人材が不足している企業に対して、専門的な指導・助言ができる人材を派遣し、より多くの県内企業のブランディング等の活動を促進する。 【 事業内容 】 (1)デザイナー派遣(有料) 具体的な課題を有する企業に対して、課題に適合した県内専門家を派遣することで、企業ブランディング、商品や販促ツール等のデザインについて指導を行う。 ・実施回数 延べ 42 回 (7 社) なお、専門家謝金の 1/2 を企業負担とする。 (2)グループカウンセリング(無料) 同一課題を持つ企業グループに対し、評価指導を行い、今後の方針策定を支援する。 ・1グループあたり 1～2 回 ・実施回数 延べ 5 回 <参考 URL > http://www.sankan.jp/fmc/			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		平成10年度	1,859 千円



福井県	機関名	福井県工業技術センター / 公益財団法人ふくい産業支援センター		
	部署名	企画支援部デザイン推進室 / デザイン振興部		
	電話連絡先	0778-21-3154		
事業名	サンドーム福井 福井ものづくりキャンパス運営事業			
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)				
【目的】 福井ものづくりキャンパスにおいて、ものづくり産業の振興や人材育成の拠点として活用するために、ものづくり企業関係者、職人、学生など幅広い層を対象にしたものづくりに役立つ講座・教室を開催する。また、デザインラボの機材の維持を行うことで円滑な運営を図る。				
【事業内容】 (1)新商品開発、販売、商品PR力の強化および人材育成としての拠点運営管理(福井県工業技術センター) 県内デザイナー、ものづくり企業向けの実践的な講座を開催するほか、デザインセンターによる新商品開発、デザイン支援やデザインラボでの試作品製作を行った。ものづくり企業から職人、学生まで幅広く対応。				
 デザインラボの試作機器を活用した共同研究事業により開発された加飾技法の一例  デザインラボでの試作を経て商品化された商品(左:耳かけ式のマスク、右:チョコレートのパッケージ)  デザインラボの試作機器を活用した商品開発研究から派生した眼鏡枠のデザイン業務省力化プログラム 				
(2)福井ものづくりキャンパス普及のためのデザイン×ものづくり啓発イベント((公財)ふくい産業支援センター)				
① 伝統工芸品を活用した食の体験イベントを開催 ・ MONO CAN ハッピーハッピークリスマス(参加者 12 組 30 名) 日時: 令和 5 年 11 月 25 日(土) 14:00~16:00 講師: エスポワール オーナーシェフ 椿原徹也氏 内容: 越前打刃物職人の作る切れ味抜群のこども包丁でいちごをカット、盛り付けの皿は越前焼を使用し、丹南の伝統的工芸品に触れながらブッシュドノエルを作る教室を実施し、ものづくりの楽しさを教示した。 ・ MONO CAN 熊谷シェフの伝統工芸ガレット(参加者 9 組 17 名) 日時: 令和 6 年 2 月 18 日(土) 14:00~16:00 講師: フランス惣菜 Kuma Deli キッチン オーナーシェフ 熊谷安浩氏 内容: 福井県産食材(そば粉、福地鶏の卵、越のルビー、へしこ、ディノケール)でガレットを作る教室を実施。盛り付けの皿は、越前焼などを使用。素晴らしい福井の食材と伝統的工芸品に触れる機会を提供した。				
				
				
② メディア等を活用した福井ものづくりキャンパスの広報 ・ MONO CAN ものづくりラジオ FM福井朝のワイド番組「Morning Tune」にて、伝統工芸やものづくりに関わる方をゲストに招いてのインタビューコーナー「ものづくりラジオ」を放送し、Facebook、Instagram で広報した。さらに、収録の様子を撮影した動画を MONO CAN の YouTube チャンネルにアーカイブした。(参考:ラジオ R05 年 聴取者数:およそ 105,000 人(全 7 回放送))				
③ 県産品の展示 ・「6つの視点から読み解く伝統工芸」 SIX BOX EXHIBITION 日時:令和 5 年 11 月~令和 6 年 3 月(月替わりで展示) 会場:福井ものづくりキャンパス デザインラボ前 内容:伝統工芸の分野で活躍する方の作品などを 6 つの箱を用いて展示、丹南の伝統工芸の魅力を紹介。(丹南地域にある 5 産地) 来場者数:11,000 名(推計)				
				
<参考 URL > http://www.sankan.jp/fmc/				
令和6年度実施予定		開始年度	予算額	
継続して実施予定		平成28度	7,743 千円	

大阪府	機関名	大阪府																	
	部署名	商工労働部 中小企業支援室 経営支援課																	
	電話連絡先	06-6210-9491																	
事業名	デザイン活用支援事業 oidc 「デザイン相談(D-challenge)」																		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)																			
令和5年度より、中小企業のデザイン活用高度化に関する事業(大阪府産業デザインセンター事業)を公益財団法人大阪産業局に事業移管し継続実施している。 【事業の趣旨】 中小企業のデザイン経営やデザイン活用の高度化に向けて、総合的なデザイン相談・指導体制を整備し、ブランディングや商品開発のイノベーションを支援する。 【実施方法】 ○相談形態：来訪、出張、オンラインミーティング等による個別面談 ○支援方法： ・大阪府内の中小企業や起業予定者のデザインに関する課題に対して、3名のデザイン専門家が相談対応。(相談無料) ・必要に応じて大阪産業局内の他事業専門家と連携を図り、知財などの各種支援機関とも連携して課題解決へと導く。 ・各地域の商工会・商工会議所、金融機関とも連携し、「出張相談会」等の実施により個別支援を行う。 【主なアドバイス内容と実績数】 ① 課題の整理を行い、新規事業の取り組み方やブランディングのアドバイス、また商品開発の方向性に関するアドバイスなど。社内モチベーションを高めるためにインナーブランディングの取り組み方もアドバイス。プロダクトデザインのアドバイス、 ② デザイナーへの依頼ポイント・契約方法や条件などをアドバイス。 ③ パッケージやロゴマークなど商品訴求力を高めるデザインの考え方や、デザイナーへの依頼ポイント・契約方法等アドバイス。 ④ 商品や企業を訴求するWEBなどのプロモーションツールの依頼ポイント・条件などをアドバイス。 ⑤ 「ホームページ無料診断」により事業者のサイトが検索結果に最適化しているか20項目以上チェックし、改善点を解説。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談事業社数</td> <td>187社</td> <td>139社</td> <td>122社</td> <td>176社</td> </tr> <tr> <td>うちホームページ診断</td> <td>110社</td> <td>50社</td> <td>31社</td> <td>39社</td> </tr> </tbody> </table>						令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	相談事業社数	187社	139社	122社	176社	うちホームページ診断	110社	50社	31社	39社
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度															
相談事業社数	187社	139社	122社	176社															
うちホームページ診断	110社	50社	31社	39社															
令和6年度実施予定		開始年度	予算額																
公益財団法人大阪産業局にて継続して実施予定		昭和62年	—																

大阪府	機関名	大阪府
	部署名	商工労働部 中小企業支援室 経営支援課
	電話連絡先	06-6210-9491
事業名	デザイン活用支援事業 oidc 「デザイン・オープン・カレッジ」	
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)		
令和5年度より、中小企業のデザイン活用高度化に関する事業(大阪府産業デザインセンター事業)を公益財団法人大阪産業局に事業移管し継続実施している。		
【概 要】 中小企業及びデザイン事務所等を対象に、デザイン分野の先端知識や技術、最新動向に関するワークショップやフォーラムを開催することにより、ビジネスにデザインを活用できる人材、および社会のニーズに合わせた新たなビジネスの創出に対応できる人材の育成をめざす事業。		
■フォーラム 日時:令和5年10月25日(水)14:00～16:00 テーマ:「サービスデザイン思考」でモノづくり企業の未来を変える！ 講師:井登 友一 氏(株式会社インフォバーン取締役副社長、デザイン・ストラテジスト) 内容:ユーザーの視点に立ってその課題を解決し、生活をより良くするサービスをデザインする考え方である「サービスデザイン思考」をメインテーマに講演を行った。 受講料:3,000 円(税込) 受講者数:48 名		
■ワークショップ① 日時:令和5年11月9日、10日(2日間実施)14:00～17:00 テーマ:三方よしのサービスをプロトタイプングするワークショップを体験しよう！ 講師:丸山 幸伸 氏(株式会社日立製作所 研究開発グループ デザインセンタ 主管デザイン長) 内容:サービスデザインとは、人を起点にして価値のあるサービスを設計するプロセスである。本講座では「Business Origami®」を使用しサービスを俯瞰して見ることで、全体像の理解や課題の発見、共有といった問題解決につながることを参加者同士で学ぶワークショップを行った。 受講料:8,000 円(税込) 受講者数:7 名		
■ワークショップ② 日時:令和5年11月24日、12月1日(2日間実施)14:00～17:00 テーマ:「不確実な未来を実感覚で共創する体験のスケッチ(アクティングアウト)」を学ぶ 講師:三宅 由利 氏(株式会社ビットデザインスタジオ Actingout Design Lab 主任) 内容:アクティングアウトとは、製品やサービスの使用シーンを「身体」を使って即興で演じることで、意識化されていない行為や感覚に気づき、開発にフィードバックする手法である。グループで身体感覚を共有しながら、お互いが意見を出し合い、アイデアをブラッシュアップする方法を学ぶワークショップを行った。 受講料:8,000 円(税込) 受講者数:8 名		
＜参考 URL＞ https://oidc.jp/college		
令和6年度実施予定		開始年度
公益財団法人大阪産業局にて継続して実施予定		昭和62年
		予算額
		－

大阪府	機関名	大阪府		
	部署名	商工労働部 中小企業支援室 経営支援課		
	電話連絡先	06-6210-9491		
事業名	デザイン活用支援事業 oidc 「ビジネス・マッチング・ブログ(BMB)」			
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)				
令和5年度より、中小企業のデザイン活用高度化に関する事業(大阪府産業デザインセンター事業)を公益財団法人大阪産業局に事業移管し継続実施している。 1.BMB 勉強会の開催 【事業の趣旨】 中小企業の情報発信とビジネスマッチングを支援するサイト「ビジネス・マッチング・ブログ(BMB)」を核として、(地独)大阪産業技術研究所との共催により「ORIST 技術セミナー・BMB 勉強会(セミナー)」を開催。ものづくり中小企業等に社会的なトレンド情報や新技術、Web テクノロジー等を紹介する。 【実施内容】(オンライン併用) ① ORIST 技術セミナーBMB 第53 回勉強会 「中小企業がブログで成功をつかむ方法ーBMB15 年の実績が伝える成功の法則ー」(R5.7.24) 参加者 28 名 ② ORIST 技術セミナーBMB 第54 回勉強会 「ブログを書いて自社の製品・技術をアピール！BMB 利用説明会」(R5.10.17) 参加者 8 名 ③ ORIST 技術セミナーBMB 第55 回勉強会 「水産業の高度化への取り組みーロボット・AI・IoT 技術が養殖場にもたらすものー」(R6.2.2) 参加者 16 名 <参考 URL> ① https://bmb.oidc.jp/article.php?story=ORISTBMBoff53 ② https://bmb.oidc.jp/article.php?story=ORISTBMBoff54 ③ https://bmb.oidc.jp/article.php?story=ORISTBMBoff55				
令和6年度実施予定		開始年度	予算額	
公益財団法人大阪産業局にて継続して実施予定		昭和62年度	—	

大阪府	機関名	一般財団法人大阪デザインセンター		
	部署名			
	電話連絡先	06-6265-2260		
事業名	デザイン経営コンサルティング事業			
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)				
中堅・中小企業者を対象に、デザイン経営を支援するコンサルティングサービスである。 依頼者の課題に対応できるメンバーを会員から選定し、コンサルティングチームを結成し、数か月から数年程度の支援計画を策定、提案する。大阪デザインセンターが契約主体となり、プロジェクトマネージャーとして活動する。報酬はコンサルフィー全体の15%程度とする。 2023年度の実績は4件となった。実績を積むことに主眼に置いたため、案件によっては、無料で取り組むものもあった。SNSなどを活用しコンサルティングのプロセスを外部に発信した。 本事業の告知のため、LP制作を経てサービスサイトの構築、チラシの作成、web広告にてPRを実施した。 サービスサイト: https://service.osakadc.jp/				
ODCデザイン コンサルティング 手厚く サポート ✓ 施策実行 ✓ デザイン制作 ✓ 戦略策定 まずは無料でご相談				
令和6年度実施予定		開始年度	予算額	
継続して実施予定		令和5年度	8,000千円	

大阪府	機関名	一般財団法人大阪デザインセンター	
	部署名		
	電話連絡先	06-6265-2260	
事業名	デザインマッチングサービス		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
中小企業のデザイン導入・活用に関するあらゆる相談や情報提供、さらには要望に応じたデザイン事務所の紹介や個別カウンセリング行うなど、中小企業とデザイナーとのビジネスマッチングに努めた。新規に加えてリピートの企業やデザイナーの来館が大幅に増え、相談や紹介依頼件数、個別面談数も前年度よりも増加した。 依頼者の本質的な要望を徹底的に丁寧にヒアリングし、会員デザイナーの中から依頼者の要望にマッチしそうな方を2者ご紹介するという丁寧な手法をとることにより、成約率は65%と昨年に比べて大幅にアップした。(前年比140%) https://www.osakadc.jp/matching/			
 			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		平成2年度	8,000千円

大阪府	機関名	一般財団法人大阪デザインセンター	
	部署名		
	電話連絡先	06-6265-2260	
事業名	デザイナー向け・企業向け・経営者向け各種講座		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
https://www.osakadc.jp/event_category/seminar/			
●企業向けセミナー パッケージから見る商標の世界(基礎編)～消費者にとって魅力ある商品へ～ 今日からあなたもイノベーション人材～いかにして私はアウトプットの価値を高めるためのマインドセットを持てるようになったか～ IT系サラリーマン 新規ビジネススペシャリストが伝えるアイデアを豊かにする習慣 絵が苦手な商品企画担当者・営業マンのためのスケッチ講座 忙しいウェブ担当者のための WordPress サイト運営術 結果が出ない採用活動にサヨウナラ			
●デザイナー向けセミナー パッケージデザインにおける紙の選び方(基礎知識)～紙を知ると商品訴求力が高まる～ ブランドコミュニケーションにおける UX デザインのプロセス 知っているようで知らない貼箱・組箱の魅力と活用術			
●経営者向けセミナー 採用ブランディング基礎 採用活動の「ブランディング」で自社とのマッチング度を高める！ セールスブランディング基礎編 ブランド促進するためのセールスプロモーション 専門家による実践セミナー 売れるにつながるウェブサイトへ 「問い合わせ」「資料請求」「申し込み」を増やす			
●知財関連セミナー デザイナーが知っておくべき意匠権とその調査方法(INPIT 大阪府知財総合支援窓口共催) 国家試験知的財産管理技能検定 モノづくり企業を活性化させる4つの秘訣 ドラマ「それバク」を10倍楽しめる国家資格！知的財産管理技能検定3級体験講座(デザイン・ブランド編) デザイナーが知っておくべき知的財産～ワイガヤ座談会～ リアルな最新事例で学ぶ！強い経営・次の一手～知って得する知財マネジメント～ (INPIT 協力)			
●デザイン経営関連セミナー 「経営デザインシート体験ワークショップ」(TAC×ODC) 「～デザイン経営実践支援ツール『デザイン経営コンパス』～自社の現状を把握し未来に向けた取組みにつなげる」(特許庁×ODC)2部制で実施			
  			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		令和4年度	3,800千円

大阪府	機関名	一般財団法人大阪デザインセンター	
	部署名		
	電話連絡先	06-6265-2260	
事業名	売れるための商品パッケージ企画実習講座		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
https://www.osakadc.jp/event_category/seminar/ 企業の商品企画・販売促進担当者を対象に、商品パッケージづくりに関する基礎知識から効果的に展開できる企画手法、デザインに取り組む留意点などをレクチャーやケーススタディ解説に加え、ワークショップを開催した。 今年度から、春秋の2回開催とした。			
●第10回「魅せる、伝わる、選ばれる 基礎知識から効果的な展開手法まで」 6月6日(火) ・パッケージデザイン概論&プロセス、ワークショップ:パッケージを生み出すというコト ・マーケティングの視点から 混迷の時代のパッケージ 顧客心理に光を照らそう！ ワークショップ:お客様目線でパッケージを評価してみよう 6月13日(火) ・SDGsを取り入れたパッケージデザインの作り方、 ・ワークショップ:社会性や多様性を意識した商品企画 ・売れ続ける”愛され”パッケージの現場から伝えたいこと、 ワークショップ:”コミュニケーションの最適化”で魅せるパッケージづくり 6月20日(火) ・女性目線でわかりやすく伝えるパッケージの技術、ワークショップ:キャッチコピーを含めたラフ案をつくる ・パッケージデザイン 買ってもらえる仕掛け、かっこいいパッケージデザイン発注の仕方 ワークショップ:チームで行う企画書作成&プレゼンテーション ●第11回「魅力が伝わる、選ばれる！コミュニケーションするパッケージ」 11月14日(火) ・パッケージデザイン概論&プロセス、ワークショップ:パッケージを生み出すというコト ・マーケティングの視点から「自然に、より高く売れる パッケージ」、ワークショップ:お客様目線でパッケージを評価してみよう 11月21日(火) ・女性目線でわかりやすく伝えるパッケージの技術、ワークショップ:キャッチコピーを含めたラフ案をつくる ・印刷がわかれば、最終的なアウトプットはこう変わる！～顧客体験を高める、五感に伝わる印刷物～ ・印刷基礎知識から、印刷の仕組み、仕上りの違い、コストダウン、注意点まで。 実際の印刷サンプル<感色>を用いてご紹介。 11月28日(火) ・”売れるパッケージ”は「記憶」でつくるー日本が誇るブランドを日本へ、世界へー ワークショップ:「記憶」でつくるパッケージデザイン ・SDGsを取り入れたパッケージデザインの作り方、 ・ワークショップ:社会性や多様性を意識した商品企画 12月5日(火) ・安心して使用できるパッケージとは(商標の観点から) ・パッケージデザイン 買ってもらえる仕掛け かっこいいパッケージデザイン発注の仕方 ・ワークショップ:チームで行う企画書作成&プレゼンテーション			
   			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		平成28年度	(3,800千円の内数)

大阪府	機関名	一般財団法人大阪デザインセンター	
	部署名		
	電話連絡先	06-6265-2260	
事業名	スタートアップ、経営支援		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
https://www.osakadc.jp/seminar-event/			
●中小企業診断士による無料相談会 2023 年 8 月～2024 年 3 月まで毎月 1 回、会員の中小企業診断士による個別無料の壁打ち相談会を実施した。当初は相談申し込みがない回があったが、徐々に知られるようになり、延べ 14 人が参加した。これにより、スタートアップの方や企業の方々の様々なニーズや困りごとと把握することができた。 ●スタートアップクロストーク スタートアップをターゲットとしたクロストークを開催し終了後個別相談会を実施した。 1月 16 日 「スタートアップ成功の鍵:先人の知恵」 講師:スパツオーネ社労士 Web 竹本 智子 司会・進行:吉田隆司 2月 16 日 「あなたの会社も狙われている～ サイバーリスクの備え(特別セミナー)」 講師:東京海上ディーアール株式会社 三宅 諒介 3月 19 日 「ONE PIECE のルフィに学ぶ！事業化を成功させる仲間づくりの方法 ～ 死の谷を乗り越えるエフェクチュエーション ～」 講師:SORA-MON 株式会社 深野 慎一 司会・進行:内海美保  			
令和 6 年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		令和5年度	(3,800 千円の内数)

大阪府	機関名	一般財団法人大阪デザインセンター	
	部署名		
	電話連絡先	06-6265-2260	
事業名	交流の場づくり		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
https://www.osakadc.jp/event_category/event/			
会員の PR の場として「SEMBA サロン」を活用し、会員から旬な話題を提供していただいた。 また、季節ごとに、会員交流会(友達同伴歓迎)を開催し、会員同士の交流を促進した。			
●SEMBA サロン			
5 月 12 日「進化する感染症対策！質感を損なわないコーティングでモノの価値を高める」 伊藤産業株式会社 西島 敦史氏			
6 月 16 日「ChatGPT はデザイナー、ライターキャリアの脅威か！？」 吉田 隆司氏			
7 月 21 日「パッケージデザイナー 消費者の心をつかむ形状からのアプローチ」 有限会社アートステージ 今村 良太郎氏			
9 月 8 日「商空間から広がるサステナブルな地域コミュニティ」 株式会社スペース 斎藤 俊二氏			
11 月 17 日「IT を AI から見つめなおす」 株式会社 NYSOL(ニソル) 丸橋 弘明氏			
12 月 22 日「顧客の心を掴むための戦略とは？～ペルソナとデザインの結びつき～」 株式会社ライフ商品デザイン研究所 岡田 英美氏			
3 月 15 日「想い通りのかたちをつくるサブディビジョンモデリング ～プロダクトデザインでの活用法～」 株式会社デザインオフィスボックス 新居 健次氏			
●交流会			
7 月 7 日 セタ交流会			
10 月 3 日 「デザインの日」交流会			
2 月 13 日 バレンタイン交流会			
			
			
			
令和 6 年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		平成 25 年度	200 千円

大阪府	機関名	一般財団法人大阪デザインセンター	
	部署名		
	電話連絡先	06-6265-2260	
事業名	デザイン関連展示会の開催		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
https://www.osakadc.jp/event_category/event/ ●チャリティ絵馬展(1月9日～19日) デザイナーたちが自作の絵馬を持ち寄り、展示・販売し、その売上収益金を大阪府福祉基金に寄付するというものであり、「何かデザイナーとして社会に貢献できることはないか」ということで、昭和 56 年の『身体障害者年』を機に始まった。売り上げから必要経費を差し引き大阪府福祉基金に寄付した。 ● BILLIKEN CREATORS OSAKA (8月9日～11日、2024年3月14日～16日) 「アートになったビリケンさん」の作品展示・販売を行うイベント「BILLIKEN CREATORS OSAKA 2024」を開催(入場無料)。同時に、人気投票で優秀作品を選出するアワード「BILLIKEN CREATORS AWARD 2024」も実施した。 ●mini mimi expo 2023(10月16日～20日) SDGs を基に繊維を中心としたプロジェクトとして、生地耳にフォーカス。織物工場から発生する廃棄物に命が吹き込まれ、アップサイクルされる様子を楽しみながら身近に体験できるイベント。 ・生地耳、生地耳を使った作品、商品の展示／販売 ・生地耳やハギレを使ったワークショップ(10/16～20) ・生地耳やハギレを使ったワークショップ(10/16～20)			
  			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		令和5年度	2,000千円

大阪府	機関名	大阪市		
	部署名	経済戦略局産業振興部イノベーション課(事業創出担当)		
	電話連絡先	06-6615-3726		
事業名	大阪デザイン振興プラザ事業			
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)				
【目的】 大阪市とアジア太平洋トレードセンター株式会社(ATC)が設置する、大阪のクリエイターの独立・創業を支援するインキュベーション施設。クリエイターの独立開業、事務所開設、取引先開拓、自己発信などの事業活動を支援することを通して、大阪で活動するデザイナー、クリエイターをより多く輩出し、大阪の経済発展に貢献していくことをめざす。 【事業内容】 クリエイター向けオフィスやギャラリー、多目的ルールを設置して、セミナーなどの各種イベントの開催や情報発信、クリエイター同士の交流促進を図るとともに、複合型商業施設である ATC とのコラボで展示会やセミナー・シンポジウム等を開催している。 【施設の概要】 所在地:大阪市住之江区南港北2-1-10 アジア太平洋トレードセンター(ATC)ITM 棟 10 階 設置主体:大阪市・ATC 開設年月:平成8年 10 月 延床面積:2742.27 ㎡ 【事業に関する情報が掲載されているサイト URL】 http://www.osaka-design.co.jp/				
令和 6 年度実施予定		開始年度	予算額	
継続して実施予定		平成8年度	190,366 千円	

大阪府	機関名	堺市	
	部署名	産業振興局産業戦略部地域産業課	
	電話連絡先	072-228-7534	
事業名	伝統産業ブランド創出促進事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
1 事業概要 堺の伝統産品とその魅力を引き立てる逸品を「sakai kitchen〈堺キッチン〉」として認定し、認定商品を首都圏等での PR・販売や SNS での情報発信など、堺の伝統産業の魅力を伝える商品として発信。 2 主な内容 (1)伝統工芸品等に精通している審査員からの応募商品のフィードバック (2)販売機会の提供 ・堺伝匠館オンラインショップでの販売(令和 5 年 3 月 1 日～) ・堺伝匠館での展示販売(令和 5 年 4 月 1 日～) ・梅田 蔦屋書店での展示・販売(令和 5 年 7 月 28 日～8 月 6 日) ・代官山 蔦屋書店での展示・販売(令和 5 年 11 月 1 日～11 月 24 日) ・オンラインストア「REALJAPAN STORE」の特設ページで販売(令和 5 年 11 月 1 日～令和 6 年 2 月 16 日) (3)各種情報発信支援 ・sakai kitchen〈堺キッチン〉ブランドロゴマークの使用 ・sakai kitchen〈堺キッチン〉のリーフレットへの掲載、広報誌への掲載 ・公式ホームページへの商品掲載、インフルエンサーによる情報発信、プレスリリース配信サービスを利用した情報発信 <参考 URL> sakai kitchen〈堺キッチン〉公式ホームページ https://www.sakai-kitchen.jp/			
令和 6 年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		令和 3 年度	8,000 千円



大阪府	機関名	堺市
	部署名	産業振興局産業戦略部地域産業課
	電話連絡先	072-228-7534
事業名	伝統産業若手異業種交流会	
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)		
1 事業概要 近畿経済産業局、(公財)堺市産業振興センターと共催で、伝統産業の未来を担う異業種の若手が交流し、異なる業界の横のつながりを作り刺激し合うことにより、それぞれの業界が自主的に新しい取組を生み出すきっかけを作るなど、本市の伝統産業界の活性化をめざす事業		
2 セミナー内容 【第5回若手異業種交流会(令和5年10月17日)】		
・講演「だんじり彫刻の技術が追い求める新たな領域」 講師 前田 暁彦氏(株式会社木彫前田工房代表取締役)		
・参加者同士の交流と伝統産業事業者の紹介 ファシリテーター 三嶋貴若氏(有限会社セメントプロデュースデザイン取締役)		
<参考URL> 伝統産業若手異業種交流会 https://www.city.sakai.lg.jp/sangyo/dentosangyo/exchange-meeting.html		
		
令和6年度実施予定		開始年度
継続して実施予定		令和3年
		予算額
		0千円

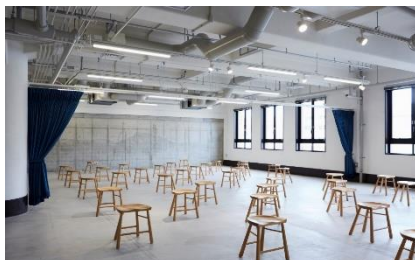
大阪府	機関名	東大阪市	
	部署名	都市魅力産業スポーツ部 モノづくり支援室	
	電話連絡先	06-4309-3177	
事業名	高付加価値新製品開発支援事業 (HIGASHIOSAKA FACTORies)		
事業概要 (事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
●事業目的 下請け形態の製造業は景気動向や発注者側の経営状況に左右されやすいといった課題があり、デザインやブランドといった資源を経営に取り入れた事業展開により付加価値の高い製品開発を実現していかなければ、生き残りが困難な時代を迎えつつあるなかで、デザインを活用した製品開発のパイロット事業を実施することで価値の高い製品創出ができる市内製造業の増加を目指すもの。			
●事業概要 3年間で1期として製品開発を推進 1年目 公募と企業選定 2年目 デザイナーとのマッチングと製品開発 3年目 展示会での発表			
●令和5年事業概要 ○製品開発の推進(3社) ○東京インターナショナル・ギフトショーへの出展(2/6～2/8、第1期企業1社を含めた4社で出展) ○発信イベントの開催(2/14開催、@東大阪市文化創造館) ○発信ツールの製作(ウェブサイト、パンフレット)			
			
ギフトショーへの出展		発信イベント	
<参考 URL> https://ho-factories.com/			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		平成30年度	10,500千円

大阪府	機関名	東大阪市	
	部署名	都市魅力産業スポーツ部	
	電話連絡先	06-4309-3177	
事業名	東大阪デザインプロジェクト事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
市内企業の自社製品開発に向け、世界で高く評価されているデザインという資源に着目し、国内外で多くのヒット製品を生み出してきた経験をもつ世界的工業デザイナーである喜多俊之氏を本市のデザインクリエイティブアドバイザーとして迎え、無料のセミナーや個別相談を実施。<市 HP:https://www.city.higashiosaka.lg.jp/0000002598.html> <過去に市内企業が喜多俊之氏とのコラボレーションにより生み出した製品たち>			
			
<令和5年度の実施内容> ○第1回セミナー『自社製品でのオリジナルブランドづくりに向けて』 7月27日(クリエイション・コア東大阪)参加者 10社 13名 アンケート満足度 84.6%(うち「非常に満足」は 38.4%) ○第2回セミナー『デザイナー× 経営者 対談』 2月21日(クリエイション・コア東大阪)参加者 7社 11名 アンケート満足度 100.0%(うち「非常に満足」は 70.0%) ○個別相談 実績 2社			
			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		平成22年度	2,400千円

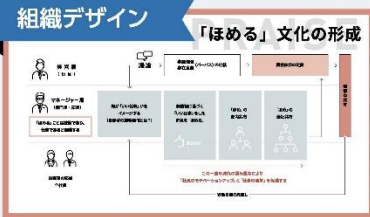
大阪府	機関名	八尾市
	部署名	魅力創造部産業政策課
	電話連絡先	072-924-3845
事業名	デザインイノベーション推進事業「yaokonton」	
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)		
<基本コンセプト> 「yaokonton(ヤオコントン)」は、「つくれないモノは、無い」を合言葉に、八尾市内企業の商品開発事業を支援するプログラムです。領域に囚われないプロフェッショナル&未来のクリエイターとのコラボレーションにより、八尾市内産業全体のブランド力を高めていくことを目的とする。 <メンター陣> プロダクトデザイナーや、コミュニケーションプランナー。ファッションデザイナーから、おもちゃクリエイターまで。ボーダレスなプロフェッショナルが集う。 <キックオフ> 採択企業の自己紹介ピッチを行い、本事業の意気込み語った。 また、メンター陣によるトークセッションを行い、三者三様の視点からプロダクト開発のポイントを紹介 また、採択企業をデザイナーが訪問し企業がもつ技術リサーチ&インプットをおこなった 実施日:8月30日 参加人数:参加企業10社各メンタ <リサーチ&アイディエーション> インプット後、主にメンター & 京都芸術大学メンバー側から、企業側にアイデアを提案。採択企業とともにプレストをすすめ、アイデアを固めていった。MTGは、zoom等を活用し、主にオンラインベースで実施。共創でアイデアをブラッシュアップしていった。 <各種セミナー(対象:主に採択企業10社)> クラファンセミナー:クラウドファンディングの利用の基礎から活用事例を紹介。8月30日 広告講義:企画・デザインにおける伝え方・考え方の型をベースとしたセッションを開催。10月10日 アイデア講義:商品企画とPRに関するワークショップ形式の講義イベントを実施。12月12日 中間報告会:採択企業のアイデアを八尾市立サポートセンターメンバー、メンター、外部企業担当からアドバイス機会。11月29日 ふるさと納税セミナー:ふるさと納税の実施手順から出品者の事例紹介までを講義。11月9日 <各展示イベント> スタート時には想像もできなかったプロダクト/試作品が誕生し、 多様な場所で展示会を実施した。 京都芸術大学:期間2024年2月15日~2月17日 (初日は、脳科学者茂木健一郎氏を招いた講評イベントを実施) <成果発表会> 採択企業、メンターなどの関係者、および、八尾市内事業者などが参加した。 採択企業からは、今後の展望などが語られ、開発したプロダクトを展示し、来場者に直接触れていただく機会を設けた。 実施日:2月29日 場所:みせるばや 参加人数:30名 アイテム数:13 参考 URL:https://yaokonton.jp/		
令和6年度実施予定		開始年度
継続して実施		平成27年度
		予算額
		9,800千円

兵庫県	機関名	神戸市	
	部署名	企画調整局大学・教育連携推進課	
	電話連絡先	078-322-6573	
事業名	「デザイン都市・神戸」の推進 BE KOBE 発信事業		
事業概要（事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など）			
「BE KOBE」は、阪神・淡路大震災から 20 年を迎える 2015 年に、大震災の経験と成果の発信と継承等を目的に展開された「震災 20 年継承と発信事業」の一環である「震災 20 年神戸からのメッセージ発信」プロジェクトをきっかけに、多くの市民の熱い想いを集約して生まれたメッセージ及びロゴであり、「神戸の様々な魅力の中で、一番の魅力は人である」という思いが込められている。 「BE KOBE」を、神戸市民であることを誇りに思う気持ち、シビックプライドの「メッセージ」として広く発信し、多くの方々が神戸のまちに愛着と誇りを持つ「シビックプライドの醸成」へと繋げていく。 ■事業概要 「BE KOBE」というメッセージは、「BE KOBE モニュメント」の存在もあり、多くの市民に浸透してきている。引き続きこれを広げていく発信と活用を推進していく。 ○「BE KOBE」を活用したシビックプライドの醸成 平成 27 年度より庁内外での BE KOBE ロゴの使用を承認制とし、民間においても広くロゴの使用を認めることで、理念の浸透を促進している。令和 5 年度ロゴマーク使用承認件数:56 件 ○「BE KOBE」モニュメントの設置 メッセージの浸透のため、「BE KOBE」モニュメントをメリケンパーク(平成 29 年度)、ポーアイしおさい公園(平成 31 年度)、神出山田自転車道(令和 2 年度)、神戸フルーツフラワーパーク、アジュール舞子(共に令和 5 年度)に設置。この他に民間企業による設置例もあり、神戸の魅力的な観光名所にもなっている。 ○その他発信事業 ピンバッジ等のグッズ作成、ウェブサイトの運営等を通して BE KOBE を広く発信。 https://bekobe.smartkobe-portal.com/			
 メリケンパーク「BE KOBE」モニュメント			
令和 6 年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		平成 26 年度	700 千円

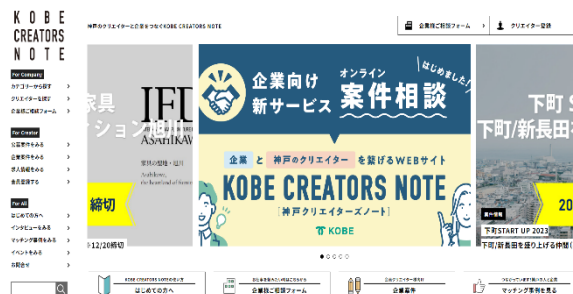
兵庫県	機関名	神戸市
	部署名	企画調整局大学・教育連携推進課
	電話連絡先	078-322-6570
事業名	「デザイン都市・神戸」の推進 デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO) の管理運営・活用	
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)		
デザイン・クリエイティブセンター神戸(愛称:KIITO=キイト)は、「創造と交流の拠点」として、旧神戸生糸検査所を改修し平成 24 年 8 月に開設。「デザイン都市・神戸」を推進するため、幅広い世代への多様な企画事業を展開。また KIITO ホールやギャラリーなどの貸館事業や、クリエイティブな活動を行う企業等が入居するクリエイティブラボの運営を行っている。 令和 3 年 9 月、KIITO3 階に「KIITO:300(キイトサンマルマル)」をオープン。こどもの創造的学びと社会貢献活動のプラットフォームとして常設拠点を開設した。 市民の創造性を育むイベント、ワークショップ、さまざまなプロジェクトを通じて、クリエイティブな人材の交流と集積を行っている。 ■施設概要 施行年:旧館 1927 年(昭和 2 年)、新館 1932 年(昭和 7 年) 敷地面積:8,601㎡ 延床面積:旧館 3,489㎡、新館 10,290㎡ レンタルスペース:ホール、ギャラリー、会議室など クリエイティブラボ:39 室 ■指定管理者:デザイン・クリエイティブセンター神戸運営共同事業体 ■おもな実施事業 ・ちびっこうべ、K0BE デザインの日記念イベント、+クリエイティブゼミ、オープン KIITO、KIITO マルシェ ほか ■参考 URL https://kiito.jp/ 		
令和6年度実施予定		開始年度
継続して実施予定		平成24年度
		予算額
		127,082 千円

兵庫県	機関名	神戸市
	部署名	企画調整局大学・教育連携推進課
	電話連絡先	078-322-6570
事業名	「デザイン都市・神戸」の推進 「KIITO:300」プラットフォーム事業推進	
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)		
こどもからシニアまで。誰もがもっとクリエイティブに。クリエイティブの芽を育て、育む交流拠点「KIITO:300」が、デザイン・クリエイティブセンター神戸(愛称:KIITO=キイト)に令和3年9月オープン。KIITO:300(キイトサンマルマル)は、子どもからシニア、社会人、クリエイターまで、誰もが集まり、つながることのできる場を目指した、あらゆる世代へ開けたプラットフォーム。 このプラットフォーム「KIITO:300」には、こどもたちの好奇心と探究心を刺激し、創造性を育むプラットフォーム「KIITO:300 キャンプ」と、だれもが社会貢献に取り組み、交流できる協働と参画のプラットフォーム「KIITO:300 ファーム」の2つの機能がある。 ■事業概要 ○「KIITO:300 キャンプ」 クリエイターとともに考えた、子どもたちを対象としたデザインやアートのワークショップやイベントを週末に開催。また、子どもの教育に関わる人々を対象としたレクチャーなども開催し、大人と子どもが共にこの場所で楽しく学べるプログラムを実施。 活動概要 ・こどもたちの主体的な学びや探究心を育む創造教育プログラムの開発・提供 ・開発、提供するプログラムの効果検証の実施 ・こどもの教育に携わる教員や学生などを対象とした人材育成プログラムの実施とコミュニティづくりなど ・家庭、公教育、地域でのプログラムの実施 など ○「KIITO:300 ファーム」 大学、企業、NPOなどを対象としたプラットフォーム。社会貢献活動の支援や相談を行う窓口業務、一般の方にも参加いただけるトークイベントやレクチャーなどを実施。活動を通して、社会との関わりと人々のつながりを広げる。 活動概要 ・活動中のまちの担い手に対する支援(相談対応、研修実施、プロジェクトの紹介、プロジェクトの開発技術の指導) ・新しい担い手の発掘、育成、支援(大学生、社会人、シニアをターゲットにした人材育成、活躍の場の提供) ・学生プロジェクトの立ち上げ・運営 ・社会人やシニア等幅広い世代が参加できるプロボノ事業・社会貢献活動に関わる団体・個人・行政がつながり交流する拠点の運営 ・SDGsをテーマとした地域共創イベント など		
  ワークショップエリア		
  セミナーエリア		
令和6年度実施予定		開始年度
継続して実施予定		令和3年度
		予算額
		指定管理事業費の中で執行

兵庫県	機関名	神戸市	
	部署名	企画調整局大学・教育連携推進課	
	電話連絡先	078-322-6573	
事業名	「デザイン都市・神戸」の推進 「デザイン都市・神戸」の発信、ユネスコ創造都市ネットワーク連携事業の推進		
事業概要（事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など）			
■事業概要 「デザイン都市・神戸」を推進する神戸市は、2008 年にユネスコ創造都市ネットワーク「デザイン分野」の認定を受けた。他の創造都市やデザインに関わる団体・学校との連携企画等を行い、市民がデザインを身近に感じることのできる機会を創出している。また、その活動内容を国内・海外に向け発信している。 ■活動実績 ○ユネスコ創造都市ネットワーク加盟都市との連携・市民へのデザインの浸透 ・国内デザイン都市（旭川市・神戸市・名古屋市）共催で、日本の“デザイン都市”のこれからを考えるカンファレンス「往来 Correspondence」を WDA 世界デザイン会議東京 2023 の公認プログラムとして開催（令和 5 年 10 月） ・「グッドデザイン神戸 2023」トークイベント実施：「グッドデザイン・ベスト 100」「都市公園等コンクール国土交通大臣賞」「ランドスケープコンサルタンツ協会賞 最優秀賞（設計部門）」を受賞している「東遊園地」設計の背景等について。（令和 6 年 3 月） ・「グッドデザイン神戸 2023」トークイベント実施：「グッドデザイン賞 2023」の金賞を受賞した「神山まるごと高専」のポリシーやカリキュラム等をお聞きし、未来を生きることも達にとって必要な学びとは何かを考えるトークセッションを、公益財団法人日本デザイン振興会、神戸市立工業高等専門学校との協力で開催。（令和 6 年 3 月） ・デトロイト（米国）、武漢（中国）・ダンディー（英国）、ソウル（韓国）でのデザイン分野サブネットワーク会議へのオンライン参加（令和 5 年 6 月、10 月、令和 6 年 2 月） ・鶴岡市で実施された「UCCN 国内都市会議」に出席（令和 5 年 7 月） ○ユネスコ「デザイン都市・神戸」のロゴマーク使用促進（令和 5 年度申請件数：25 件） ○「デザイン都市・神戸」の発信：「デザイン都市・神戸」ホームページ、紹介冊子での情報発信（年間） https://www.city.kobe.lg.jp/design/ <紹介冊子>  <「デザイン都市・神戸」ロゴマーク> 			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		平成 20 年度	指定管理事業として実施等

兵庫県	機関名	神戸市
	部署名	経済観光局新産業創造課
	電話連絡先	078-984-0334
事業名	市内中小企業×課題解決プログラム「ミライ経営塾 Wonders(ワンダース)」	
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)		
■概要 市内中小企業を対象に、「デザイン経営※」の視点から事業開発・課題解決を実践するプログラムです。 「ブランドデザイン」「組織デザイン」「プロダクトデザイン」の各分野で活躍するメンター3名による伴走型のプログラムを実施し、企業の事業成長の加速を図ります。 ※デザイン経営とは デザインの力をブランドの構築やイノベーションの創出に活用する経営手法です。その本質は、人(ユーザー)を中心に考えることで、根本的な課題を発見し、これまでの発想にとらわれない、それでいて実現可能な解決策を、柔軟に反復。皆瀬円を繰り返しながら生み出すことです。(経産省・特許庁「デザイン経営宣言」2018 より) ■参加企業数 12 社 ■メンター 「ブランドデザイン」 星加 ルリコ氏(写真左) 「組織デザイン」 岩野 翼氏(写真中) 「プロダクトデザイン」小林 新也氏(写真右) ■プログラム内容 ・基本講座(全3回) プロダクトデザイン、ブランドデザイン、組織デザインの3つのテーマに分け、デザイン経営の考え方を座学とワークショップで学びます。 ・伴走支援講座(全6回) 参加した 12 社が「ブランドデザイン」「組織デザイン」「プロダクトデザイン」の各グループに分かれ、それぞれのメンターとともに事業開発・課題解決を目指します。 ・最終報告会 各企業がプログラムを通じて学んできたことや、目標に向けた取り組み状況について発表します。 < 参考 URL > https://www.kobe-np.co.jp/info/wonders/		
ブランディング  社内用ブランドガイドを制定。 ガイドラインにそってPOPや装飾を することで売り上げ向上を目指す。 株式会社 イスズベーカーリー 組織デザイン  「ほめる」文化の形成 チャレンジ精神が停滞気味な部門へ、 価値観の統一とフィードバックの 仕組みを提案し推進している 株式会社 小泉ビジネスソリューション プロダクトデザイン  自社の技術を生かし、機械金属工業会 の仲間たちと各々の技術の強みを組み 合わせ、新商品の試作品を共同制作。 株式会社 神戸熔工		
令和 6 年度実施予定		開始年度
令和 5 年度で事業終了		令和3年度
		予算額
		10,000 千円

兵庫県	機関名	神戸市
	部署名	経済観光局新産業創造課
	電話連絡先	078-984-0334
事業名	「Kobe Creators Note(神戸クリエイターズノート)」	
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)		
■概要 神戸市内で活躍しているクリエイティブ人材と市内企業とが つながる場を提供し、新たなビジネスを生み出す基盤として、 WEB サイト「Kobe Creators Note」を運用しています。 ■登録クリエイター数 約 220 名 ■主なコンテンツ ・クリエイティブ案件の企業向け相談窓口を設置 ・神戸で活躍するクリエイターを紹介【クリエイターを探す】 ・神戸で活躍するクリエイターの仕事を記事で紹介【インタビュー】 ・神戸市内企業とクリエイターの共創事例を記事で紹介【マッチング事例】 ・市内公募情報などのクリエイティブ案件情報を掲載【案件情報】 ・神戸市や登録クリエイターのイベント情報を掲載【イベント情報】 < 参考 URL > https://kobecreatorsnote.com/		
令和 6 年度実施予定		開始年度
継続して実施予定		令和元年度
		予算額
		2,850 千円



兵庫県	機関名	神戸市
	部署名	経済観光局新産業創造課
	電話連絡先	078-984-0334
事業名	株式会社マクアケとの事業連携	
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)		
■概要 令和3年9月に、神戸市と株式会社マクアケは「中小企業のイノベーション創出・販路拡大支援に関する事業連携協定」を締結し、ICT によるマーケティング・広報という観点から中小企業のイノベーション創出・販路拡大支援を促進します。 < 神戸市×Makuake 特集ページ URL > https://www.makuake.com/partner/kobecity ■クリエイター活用による中小企業等のイノベーション創出・販路拡大支援等促進補助金 市内中小企業等がクリエイター等に発注する「Makuake」プロジェクトページ制作にかかる費用の一部を補助 補助金額:上限 20 万円 補助率:補助対象経費の2分の1 詳細 URL:https://www.city.kobe.lg.jp/a14333/business/innovation_makuake.html		
 KOBE  ×  Makuake		
令和5年度実施予定		開始年度
継続して実施予定		令和3年度
		予算額
		2,500 千円



KOBE  ×  Makuake

奈良県	機関名	奈良県	
	部署名	産業部経営支援課	
	電話連絡先	0742-27-8804	
事業名	小規模地場産業振興補助事業「デザイン開発事業」		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<事業内容> ・伝統に培われた技術力を活かす独創性の高い商品づくりの支援策として、専門のデザイナーが小規模地場産業(履物・スポーツ用品・毛皮革)の商品開発に参画し、デザイン開発を指導・支援することで商品力の強化を図り、業界の活性化を行った。 <事業実施主体(補助先)> 奈良県履物協同組合連合会、奈良県スポーツ用品協同組合連合会、奈良県毛皮革協同組合連合会 <講師>(協)ジャパンデザインプロデュースユニオン会員デザイナー等 ※下記補助予算額は、履物・スポーツ用品・毛皮革各連合会等への補助総額であり、販路開拓等、他の事業への補助も含む。			
デザイン開発事業実施フロー			
【1. テーマ設定】 ・新商品のデザイン ・商品のカラー展開 ・商品の新ロゴデザイン ・商品の新パッケージ デザイナー	【2. コンセプト検討】 ターゲット層の検討 ターゲット層のニーズを把握し、商品開発の方向性を決定する。 競合商品の分析 競合商品の強みを把握し、差別化を図る。 コンセプトの決定 商品の特長、ターゲット層、競合商品の分析に基づき、商品のコンセプトを決定する。 商品特長、ターゲット層、競	【3. 新デザイン提案】 デザインスケッチを元に	【4. 商品化検討】 試作品の製作等にて、
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施		令和2年度	7,533 千円

奈良県	機関名	奈良県		
	部署名	産業部経営支援課		
	電話連絡先	0742-27-8133		
事業名	奈良ブランド開発支援事業			
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)				
○事業内容 奈良ブランド開発支援事業は、従来型の地域ブランドとは異なり、モノ単体の開発ではなく、生活者からの信頼を得てファンを作っていく企業の取組自体を支援する事業です。 地域を越えて多様な業種が参加し、短期的成果よりも顧客と真摯に向き合おうとする社会性の高い参加者間のネットワークを構築。これを通して個々の事業者のブラッシュアップを図り、自分達の個性を見出した事業者は、松屋銀座、リビングデザインセンターOZONE、阪急百貨店、等において、個々の世界観を披露する機会を獲得し、顧客とつながる距離をショートカットしています。 それらによって個々の企業のブランド化を図ろうとする取組です。「ヒット商品を目指すのではなく、作り手と使い手の双方が愛着を感じるロングセラーを目指すモノづくり」というテーマを各企業が共有し、切磋琢磨しながら、自社ブランド構築に繋がる取組を実施しています。本事業は、グッドデザイン賞を2012年、2013年、2014年、2018年と4回受賞。				
＜プラットフォーム型活性化モデル＞ ① ブラッシュアップミーティング = 多様な地域、多様な業種の参加による切磋琢磨  ② TEIBAN 展 作り手が、会場でお客様の声を伺い、そこから得られた評価から課題を生み出し、進化に繋げる。  ③ N-A-R-A T-E-I-B-A-N (松屋銀座内) 平成 30 年4月に松屋銀座に常設出店。  ＜参考 URL＞ http://www.pref.nara.jp/43989.htm				
令和6年度実施予定		開始年度	予算額	
継続して実施		平成 21年度	5,500 千円	

奈良県	機関名	奈良市
	部署名	観光経済部産業政策課
	電話連絡先	0742-34-4741
事業名	令和5年度 奈良市中小企業伴走型支援事業「奈良市デザイン経営フロンティア企業育成プログラム」	
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)		
【事業内容】 本事業は、VUCA(先行きが不透明で、将来の予測が困難な状態)の時代において、デザイン経営での中小企業支援を行う専門家が、企業経営者に伴走して助言・直接支援を実施することで、企業自身が顧客に高い価値を提供するための新たな戦略の策定を促すものである。さらに企業単体の業績を向上させるだけでなく、本事業をきっかけに高付加価値企業となるフロンティアを生み出し、その取組を積極的にPRすることで、高付加価値企業を生み出す好循環を創出し、市内企業の経営革新やイノベーションへの機運を醸成することを目的とする。 【支援内容】 ・伴走型支援によるコンサルティング ・経営計画書・事業計画書作成支援 ・本プログラムの成果発表会への参加 【デザイン経営導入セミナーについて】 【1】イベント名/日時・場所 ～経営者とデザイナーの共創による付加価値創造～デザイン経営導入チュートリアルセミナー 日時:令和5年8月18日 13:00-16:00/場所:奈良公園バスターミナル レクチャーホール 当日 YouTube LIVE 配信 ※参加(申込)人数 現地:33名、オンライン:49名 【2】プログラム 13:15 基調講演(株式会社 SASI 近藤 清人氏)/13:55 基調パネルトーク(株式会社 SASI 近藤 清人氏、有限会社白銀屋 高橋 光夫氏、同社 福島 三悦氏、INPIT-KANSAI 千葉 慎二氏)/15:10 事業者ディスカッション(株式会社 SASI ディレクター、奈良市デザイン経営フロンティア企業育成プログラム参加企業) 【3】主催 奈良市、奈良商工会議所/共催 INPIT-KANSAI 【成果発表会について】 【1】イベント名/日時・場所 令和5年度デザイン経営関西3市合同成果発表会 日時:令和6年2月22日 13:00-17:00/場所:グランフロント大阪 ナレッジキャピタル 当日 YouTube LIVE 配信 ※一般参加はオンライン視聴のみ可能 【2】参加企業・登壇者 (奈良市)令和5年度 奈良市デザイン経営フロンティア企業育成プログラム参加企業 ・株式会社風神 ・株式会社新踏社 ・株式会社森脇ビデオ企画 (宝塚市)令和5年度 デザイン経営実践支援事業参加企業 (生駒市)令和5年度 IKOMA LOCAL BUSINESS HUB 参加企業 【3】講師 山縣 正幸氏(近畿大学経営学部 教授)、近藤 清人氏(株式会社 SASI 代表取締役) 【4】主催 奈良市、宝塚市、生駒市/運営企画 株式会社 SASI ※本事業は株式会社 SASI への委託事業です。 【参考 URL】https://www.city.nara.lg.jp/site/jigyosyashien/list933-3256.html		
令和6年度実施予定		開始年度
継続して実施		令和4年度
		予算額
		3,000千円



和歌山県	機関名	和歌山県
	部署名	商工労働部 企業政策局 企業振興課
	電話連絡先	073-441-2760
事業名	デザイン経営価値共創支援事業「VALUE-WAKAYAMA Design Management」	

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

■概要

デザイン経営の手法を用いた中小企業の価値創出プロジェクトです。

本プロジェクトは、この土地で長い間育み、守ってきた技術や思いを持つ事業者と、多様な経験を持つ外部人材が仲間となって挑戦する価値創出プロジェクトです。

■シンポジウム

日時:5月31日(水)13:00-17:00

場所:IDEA・オンライン

参加者:34名

■セミナー

(事業者向け) ※全3回

日程:6月22日(木)、6月29日(木)、7月6日(木)

参加者:31名(各回)

(デザイナー向け)

日程:7月11日(水)

参加者:15名

(ビジネスパーソン向け)

日程:7月11日(水)

参加者:10名

■マッチング

事業者がプレゼンテーション実施、デザイナー/ビジネスパーソンとマッチング

日程:7月24日(月)

参加者:事業者7社、デザイナー7名、ビジネスパーソン10名

■ワークショップ(全6回)

事業者/デザイナー/ビジネスパーソンが一つのチームとなり、デザイン経営の手法を

活用したビジョン策定・新規事業開発

参加事業者 5社

■ハンズオン(随時)

ワークショップで策定した計画をアドバイザーに対する壁打ち等によってブラッシュア

ップ

参加事業者 5社(ワークショップから継続)



※Selection Phaseにはデザイナーマッチング会で選考された事業者のみが参加可能です

< 参考 URL >

<https://wakayamavalue.com/>

※リンク先の内容は令和6年度実施分

令和6年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	令和4年度	17,360千円

近畿経済産業局	機関名	近畿経済産業局
	部署名	地域経済部 産業技術課 知的財産室
	電話連絡先	06-6966-6016

事業名	令和 5 年度 デザイン経営普及支援
-----	--------------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

■事業概要

- ・ デザイン経営の普及に向けて、すでにデザイン経営といえる取組をしている企業事例を専門家目線で分析し、デザイン経営による成長ストーリーを小冊子にまとめた。
- ・ 小冊子では、業種も規模も異なる5社の事例を基に、製品の捉え直しやビジョンの言語化などの取組をデザイン経営の視点で分析し、取組のポイントについてデザイン経営の専門家による解説を掲載。



■小冊子「中小企業をアップデートする！」

掲載事例(5社)

クスカ株式会社 (京都府与謝郡)	伝統的な技術を見つめ直し、独自の手織りでしか表現できない生地を活かしたネクタイを生産
共和鋼業株式会社 (大阪市淀川区)	ひし形金網の意味を捉えなおし、新たな可能性を開拓
株式会社神防社 (神戸市中央区)	経営陣の想いを行動指針に反映し、一体感のある組織を構築
株式会社友安製作所 (大阪府八尾市)	会社の価値観の徹底した言語化により、事業のつながりと共感を醸成
株式会社ワカヤマ (福井県鯖江市)	社内外への発信による社員の一体感醸成と新事業の創造

(参考 URL)

https://www.kansai.meti.go.jp/2tokkyo/10design_keiei/2023_chusho_update.pdf



令和 6 年度実施予定	開始年度	予算額
令和 5 年度で事業終了	令和5年度	—

近畿経済産業局	機関名	近畿経済産業局	
	部署名	地域経済部 産業技術課 知的財産室	
	電話連絡先	06-6966-6016	
事業名	令和 5 年度 関西デザイン経営推進事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
■事業概要 ・デザイン経営に取り組みたい中小企業 3 社に対し、特許庁が示した6つの知財アクションの内の人格形成と文化醸成を中心に、デザイン経営の手法による伴走支援を実施。 ・本事業にて支援を受けた事業者のデザイン経営に対する理解が、他の事業者にも波及していくことを目的に、成果発表会を開催。 ・また、デザイン経営の取組を検討している事業者等に対し後押しするため、わかりやすく表現するとともに、伴走支援を行った事業者の実践例などを記載した事例集を作成。			
■成果発表会 令和6年2月21日(ハイブリッド開催) 会場：グランフロント大阪			
■事例集「経営って山登り? デザイン経営 GUIDE BOOK」 デザイン経営に取り組む一連の流れを、山登りに例えたわかりやすい表現で解説。 ▶山登りのポイント ▶山の登り方 ▶登山ルートについて ▶登山の実践者たちによる登山報告 ▶登山をはじめた3人の登山者の記録			
(参考 URL) https://www.kansai.meti.go.jp/2tokkyo/10design_keiei/2023_design_keiei_guidebook.pdf https://www.kansai.meti.go.jp/2tokkyo/10design_keiei/design_top.html			
  			
令和 6 年度実施予定		開始年度	予算額
令和 5 年度で事業終了		令和5年度	—